



資料提供

提供年月日	令和8年2月5日（木）
発表者	長浜市曳山博物館
担当者名	館長 太田 浩司 学芸員 岩田 澄奈
連絡先	0749-65-3300 (長浜市曳山博物館)

長浜市曳山博物館 曳山文化ギャラリー

北近江豊臣博覧会 長浜城・城下町紹介展示

1 主催：北近江豊臣博覧会実行委員会・長浜市曳山博物館

2 会期：令和8年2月1日（日）～12月20日（日）
＊博覧会開催期間に同じ。

3 会場：長浜市曳山博物館 曳山文化ギャラリー

4 休館日：毎週月曜日
＊月曜日が祝日・休日の場合は翌平日休館

5 開館時間：9:00～17:00
＊入館は16:30まで

6 入館料：無料（曳山文化ギャラリーは無料スペース）

7 展示概要

NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」に合わせて、長浜市では「北近江豊臣博覧会」が開催されています。

このギャラリーでは、今後多くの観光客が訪れる「大河ドラマ館」や大通寺展示からの街中周遊を促すために、秀吉や弟の秀長が建設した城と城下町の姿を知ることができます。あわせて、秀吉以後、江戸時代・近代において、長浜が商人町として発展した足跡を示す史跡も紹介します。さらに、兄弟や長浜城下町に関するQ&Aコーナーも設け、楽しみながら豊臣家と長浜の関係を知って頂きます。

8 展示内容

1) 「長浜城下町遺産」の展示

「長浜城下遺産」は、市民団体である「長浜城下町まちづくり勉強会」が、令

和3年～7年にかけて、市民の誇りとなり、かつ新たな観光名所になる遺産52ヶ所を選定したものです。選定は市民投票を基に、長浜市街地関係者からなる選定委員によるもので、52ヶ所は秀吉以来の長浜旧町の数（52町）にちなんでいます。

これらの遺跡をたどることで、秀吉・秀長の城下町である長浜について、戦国時代から近代に至る町の歩みを知ることができます。展示では52ヶ所の位置や説明・写真を、秀吉遺産・町屋遺産・景観遺産・産業近代化遺産のジャンルごとに掲示しています。

2) 長浜城下町Q&A

長浜城下町や秀吉・秀長に関するクイズ6問（下記①～⑥）が掲示されており、クイズが記された幕をめくると正解が表われる展示となっています。

- ①秀吉が長浜の町を作る前の地名は何か？
- ②戦国時代の長浜城の歴史は何年か？
- ③秀吉が長浜城主となった時、秀長は何歳か？
- ④秀吉が行なった長浜城下町の優遇策は何？
- ⑤秀吉が長浜城主となった時、秀長の通称は？
- ⑥秀長が寄進したと伝える阿弥陀三尊像はどの寺にある？

3) 長浜市街地周辺に残る秀吉・秀長遺跡

以下の長浜市街地周辺の秀吉・秀長遺産を、解説と写真で紹介しています。

- ①長浜城歴史博物館
- ②長浜城石垣出土地
- ③大三六堀（長浜城外堀）
- ④長浜城外濠跡碑
- ⑤豊国神社
- ⑥開町四百年記念碑
- ⑦増田長盛屋敷跡
- ⑧知善院
- ⑨妙法寺
- ⑩長浜八幡宮
- ⑪舍那院

以上



展示入口



1) 「長浜城下町遺産」の展示



2) 長浜城下町Q & A